

# 令和4年度 自己評価・園関係者評価報告書

学) 海山学園 認定こども園  
追分幼稚園 附属追分ベビー園

## 1 本園の教育目標

- 自ら生き生きと活動する子の育成
  - 感じたこと、考えたことを素直に表現する子の育成
- [目指す子ども像]
- ・健康で明るい子ども [健康]
  - ・自分で考え、自ら行動し、やりぬく子ども [主体性]
  - ・感じたこと、考えたことをすなおに表現する子ども [表現力]
  - ・友達と遊び、思いやりのある子ども [思いやり]

## 2 本年度の重点目標・計画

- (1) 安全・安心な教育環境の整備と機能の強化
- (2) (新) 幼稚園要領・保育指針の主旨を活かした教育・保育活動の質の向上
- (3) 開かれた園経営と組織的な対応による安定した運営

## 3 評価項目の達成及び取り組み状況

	評価項目	評価	取り組み状況
1	安全・安心な教育環境を日々の実践に生かす	B	「保健・安全・給食部」を組織に位置付け、全職員で安全点検・安全会議（記録回覧）を行い、保護者の要望も取り入れ、計画的に改善・整備を図った。
2	教育・保育の質を高めるための研修を実践に生かす	B	職員は、教頭の調整のもと、他園参観、キャリアアップ研修等に積極的に参加した。その結果、日々の指導が充実してきた。
3	分掌組織に基づいた指導ができるよう園内連携体制を整備する	C	定例の分掌部会や必要に応じて各部の打合せを行うようになってきた。課題は月2回の運営委員会で話し合い全職員に周知した。定例の職員会議も全正職員が司会・記録を持ち回りで担当した。

## 4 総合的な評価結果

評価	理由
B	昨年度以上に、分掌等の組織を生かし、何でも相談できる体制を醸成した。研修も積極的に参加できる体制を構築したことで、幼児理解が深まり、同僚性も育まれてきた。

## 5 今後取り組む課題

	課題	具体的な取り組み方法
1	組織機能化	より組織が機能するように、さらに各部の主任に権限をもたせ、検討・調整できる「運営委員会」にしていくことで、リーダーやミドルリーダーを育てていきたい。
2	安全管理	保健関係のマニュアルは大分整備されてきたが、スクールバスや危機管理関係のマニュアル整備はまだ課題があるので、職員間の共通理解を図りながら整備していく必要がある。
3	研修	公開保育・研修への積極的な参加体制を継続しつつ、成果を職員間で共有できる体制（研究を通じて等）を構築する。

## 6 園関係者評価委員会の意見

- ・園児数・職員数が増え、大きな組織になってきているので、職員間で園の教育目標達成に向けて共通理解を図り、日々の教育・保育に取り組んでほしい。

### 学校評価の流れ

4月	職員会議で職員に評価項目を提示
5月	園関係者評価委員（評議員）に評価項目を提示
7月	公開保育（参加者にアンケートを依頼 [職員に公開]）
9月	保護者・職員にアンケートを実施
12月	職員会議に取組状況を報告し、今後取り組む事項等を協議・検討
3月	評議員会で園経営の評価を実施
4月	評価の結果をホームページで公表

